

—原価計算の基礎(仕組み)について練習問題を交え、原価情報活用について事例考察にて解説—
—今のコスト体制を見直すヒントを探る—



[京都開催] 医薬品工場における原価マネジメント

<原価計算・原価情報活用と製造原価低減への取り組み>

～原価を構成する要素ごとの原価低減のポイント、原価情報活用～



日時	2019年6月13日(木) 10:30～16:30	会場	京都・京都市南区 京都府民総合交流プラザ(京都テルサ) 東館 3F A会議室
受講料	48,600円 ⇒S&T会員 46,170円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価:本体45,000円+税3,600円 会員:本体42,750円+税3,420円)		資料・昼食付

講師 村田兼一コンサルティング(株) 代表取締役 村田 兼一 氏
【アステラス製薬(株)にて、SAP導入PJ推進(生産管理・品質管理・管理会計)GMP管理体制再構築、BPRプロジェクト、サプライチェーンマネジメント 品目承継、アウトソーシングPJなどを担当】

趣旨 超高齢化社会を迎えて増加一方の医療費を抑制するため、薬価制度改革が進められており、毎年薬価改定や長期収載品薬価の大幅引き下げなど、薬価の引き下げ圧力が益々強まっている中、製薬メーカーとして適正な利益を確保していくためには更なる製造原価低減に取り組むことが必須となってきました。
製造原価低減に取り組むうえで重要なのは、製造原価計算における数値の持つ意味を正しく理解し、活用し、原価低減活動の目標設定や評価につなげていくことです。
本セミナーでは、医薬品工場の製造原価について、原価計算の基礎を練習問題も交えながら解説し、原価を構成する要素ごとに原価低減の進め方のポイント、原価情報の活用については事例を交えながら考察します。

プログラム	<p>【医薬品企業をとりまく環境】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外製薬企業の動向—ビジネスモデルの多様化 2. 世界の中での日本の製薬業 3. 医薬品産業強化総合戦略と 医薬品産業ビジョン2013 のインパクト 4. 医薬品メーカーのValue Chainとその変化 5. 医薬品製造のアライアンスモデル <p>【医薬品工場と原価】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品工場の原価構成 2. 2018年4月薬価改定 3. 薬価制度改定の影響 4. 後発医薬品の数量シェア目標 5. 長期収載品売上高推移 6. 医薬品製造業の原価率 7. 医薬品工場の抱えるリスク 8. 医薬品工場の競争力 9. 医薬品製造業の原価率 10. なぜ原価マネジメントか <p>【原価の仕組みと計算方式のいろいろ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原価計算の目的と原価計算方式のいろいろ 2. 原価の分類(練習問題 1) 3. 費目別計算 材料費会計(練習問題 2) 4. 部門別原価計算 5. 直課と配賦 6. 間接費の配賦と操業度 7. 費目別計算 労務費会計 8. 労務時間管理と労務費単価計算(練習問題 3) 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 費目別計算 経費会計 10. 活動基準原価計算(Activity Based Costing) 11. 活動基準原価計算と伝統的原価計算(練習問題 4) <p>【原価情報の活用】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産効率を測る指標 2. 実際原価と標準原価 3. 標準原価計算における原価要素別の計算 4. 原価マネジメントのサイクル 5. 標準原価設定スケジュール 6. 標準原価との差異分析 7. 製造委受託での価格設定のイメージ <p>【原価マネジメント】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cost Reduction (CR) と Cost Control (CC) 2. 医薬品のライフサイクルと製造コストマネジメント 3. 労務費のマネジメント---要員稼働率/直間比率 4. 設備費のマネジメント 5. OEEと設備の6大ロス/設備稼働率の定義 6. 経費のマネジメント 7. QCコストのマネジメント 8. 原価マネジメント事例紹介 9. KPIによる工場マネジメント 10. 原価マネジメントまとめ
--------------	--	--

□質疑応答・名刺交換□

■2名同時申し込みで1名分無料■
(1名あたり定価半額の24,300円)

※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。
※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申し込みのみ適用いたします。
※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。
※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。
※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 C190672 ([京都] 医薬品工場・原価マネジメント) DM

会社名 団体名		
部署		
役職	〒	
ふりがな	住所	
氏名		
TEL	FAX	
E-mail	※申込みに関係する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。	

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

今後のご案内	
<input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み <input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み <input type="checkbox"/> 希望しない	S&T会員価格を 適用いたします。 (E-mailアドレス必須)
お支払方法	
<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日) <input type="checkbox"/> 当日現金払い	
通信欄	

●受講料について
「2名同時申し込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。
●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
●キャンセル規定
開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
・開催7日前以前でのキャンセル: キャンセル料はいただきません。
・開催3～6日前でのキャンセル: 受講料の70%
・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%
※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com